

# 政府開発援助等に関する特別委員会

## 委員一覧（30名）

委員長	松下 新平（自民）	佐藤 正久（自民）	那谷屋 正義（立憲）
理事	青山 繁晴（自民）	高橋 克法（自民）	塩田 博昭（公明）
理事	加田 裕之（自民）	藤井 基之（自民）	高瀬 弘美（公明）
理事	北村 経夫（自民）	本田 顕子（自民）	梅村 聡（維新）
理事	森本 真治（立憲）	松山 政司（自民）	磯崎 哲史（民主）
理事	矢倉 克夫（公明）	山田 太郎（自民）	大塚 耕平（民主）
理事	清水 貴之（維新）	山本 順三（自民）	井上 哲士（共産）
	小川 克巳（自民）	石川 大我（立憲）	伊藤 岳（共産）
	大家 敏志（自民）	古賀 之士（立憲）	高良 鉄美（沖縄）
	大野 泰正（自民）	田島 麻衣子（立憲）	木村 英子（れ新）

（会期終了日 現在）

## （１）審議概観

第204回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

### 〔国政調査等〕

3月12日、政府開発援助等開発協力の基本方針に関する件について、茂木外務大臣から所信を聴いた。

3月23日、予算委員会から委嘱された令和3年度政府開発援助関係経費の審査を行い、アフターコロナに向けた防災・まちづくり分野などにおけるソフト面での国際協力の重要性、インド太平洋における戦略環境の変化及び我が国のODA

戦略への影響に関する認識、COVAXファシリティに対する我が国としての評価及び各国からの反応、先般表明されたロヒンギャ難民に対する我が国の約20億円の人道支援の意義、日米豪印による新型コロナウイルス感染症のワクチンに係る途上国支援の枠組みの意義、我が国の石炭火力発電所の輸出支援への国際的批判に関する認識、国連女子差別撤廃委員会のフォローアップ報告の公表の大幅な遅れに対する外務大臣の認識と今後の対応等について質疑を行った。

## （２）委員会経過

### ○令和3年1月18日（月）（第1回）

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

### ○令和3年3月12日（金）（第2回）

○政府開発援助等開発協力の基本方針に関する件について茂木外務大臣から所信を聴いた。

### ○令和3年3月23日（火）（第3回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○参考人の出席を求めることを決定した。

### ○令和3年度一般会計予算（衆議院送付）

令和3年度特別会計予算（衆議院送付）

令和3年度政府関係機関予算（衆議院送付）

（政府開発援助関係経費）について茂木外務大臣から説明を聴いた後、同大臣、宇都外務副大臣、政府参考人及び参考人独立行政法人国際協力機構理事長北岡伸一君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

加田裕之君（自民）、田島麻衣子君（立憲）、  
高瀬弘美君（公明）、清水貴之君（維新）、  
大塚耕平君（民主）、井上哲士君（共産）、  
高良鉄美君（沖縄）

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和3年6月16日（水）（第4回）

- 政府開発援助等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。